

2 助成対象のまちづくり活動を行ったふりかえり

申請書に記載の活動の「目的、目標、計画」に基づきふりかえりをご記入ください。

(1) 目標達成(目標を達成できたか、達成できなかったものがあればその理由)

■目標

名古屋市を、より多様な人が地縁組織と関わりながらまちづくりを行う都市にする。
今年度末のメンバー数 100 人を目標に、地域の担い手を育成していく。

■結果

昨年度 44 名⇒現時点でのメンバー68 名。100 人は達成しなかったものの、ボランティア雑誌掲載や、リニューアルした HP への問い合わせ、また、メンバーの活動を通じて着実に仲間が増え、またそれぞれで連携が起きている。

(2) 活動の成果(参加者や地域住民の評価、活動を通して得られた成果など)

①BLUE BASE メンバーが地縁組織の役員となること

…実際に地縁組織の役員として活動するメンバーが奮闘するなか、ボランティアの足掛かりとして地縁組織に目を向けるメンバーが増えた。また、ブログ等を通じて地縁組織の現状を伝える活動を行っている。

②若い世代が地縁組織と関わるための入口をつくること

…昨年に引き続き、メンバーは積極的に若い世代が地域に関わるためのイベントを実施。昨年度は見ているだけだったメンバーが動き出す様子も見られた。(緑区にて自治会との共働マルシェ、守山区自治会まち歩き、西区自治会お祭りや炊き出し訓練、中川区おやじの会地元マルシェ出店、西区音楽祭の地域との関わりなど)

③より多くの人足元のまちとまちづくりに目を向け、一歩を踏み出すこと

…メンバー内の情報共有だけでなく、ブログ発信や、他のボランティア団体での発表を通じて、足元のまちとまちづくりの大切さを伝えてきた。

また、ボラみみアワードにも選ばれたことで、多くの人目に留まることができた。

(3) 活動における工夫(活動の目標達成のために工夫した点など)

昨年までの工夫①～④に加え、助成金を活用した⑤⑥に取り組みしました

①オンラインでの勉強会およびアーカイブ配信

②変顔での記念撮影、変顔オブザイヤーの表彰式

③助成金やイベントの情報共有

④団体と団体のコラボ

⑤特別講師による現地勉強会

白上昌子さんをお招きした「コミュニティスクール」勉強会を実施

⑥HPの更新とブログ、SNSでの発信

HPを更新(別紙参照)、HPリニューアル後の問い合わせ 2 件

HP内ブログ 2023 年 6 月～2024 年 2 月の期間中 11 回更新

そのほか、インスタグラムでも発信

(4) 活動の改善点(課題や反省点と、それを踏まえ今後の改善などを具体的に)

BLUE BASE の活動は、人数が増えるほど地域の担い手が増え、地域活動を活性化する事業です。また、若い世代をターゲットとしているため、HP や SNS 上での情報発信が重要な役目を果たします。

今年度、情報はあっても、ブログの更新ができていなかったことが多くありました。

今後はより良いタイミングでより良い内容の情報発信ができるようにしていきます。

活動していて肌で感じるのですが、地域活動をしていると「そんなことをして何の得があるの?」という雰囲気が漂っています。歩いて行ける範囲の日ごろの繋がりが、子どもたちの成長や高齢者の生きがいがづくり、災害時の助け合いにいかに必要なか、また、地域で活動することがどんなに楽しいことか、社会に少しでも伝わるよう、私たち自身が勇気づけしながら楽しんで活動していけたらと思います。

(5) 次年度の活動計画(具体的な活動の見通しなど)

BLUE BASEは「一歩踏み出す人を応援する団体」です。大きくイベントを行うよりも、今までどおり、グループ内での情報シェアや、オンライン上でのミーティング、SNSでの情報発信が、若い世代の担い手育成に効果的だと考えます。

次年度は代表が子ども会会長およびPTA母代となり、この「子ども会」や「PTA」など、若い世代に注目されるようなキーワードを中心に情報発信を行っていければと考えています。

(6) 活動を進めるうえで、助成事業について改善を望むこと

いつもとても親身に、活動しやすいよう工夫しながら応援いただきましてありがとうございます。

夜の時間帯の交流会はとても参加しやすく、メンバーも多く参加でき、その後の交流や活動に繋げることができました。ありがとうございました。

また、都市センターのスペースを活用した掲示も大変有り難かったです。

都市センターさんへ求めることは何も無いのですが、それをうまく活用できなかったのが惜しまれます。来年度再度助成をいただくことができれば、オンラインミーティングの様子や内容など、お伝えできるようにしたいです。

※第5号様式は、2ページにおさまるように記入してください。

※活動における実施した内容(写真やレポート、調査結果等)、経費にて作成した成果品(チラシ、冊子など配布物)を別添資料としてください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施記録

実施記録は 1 ページにおさまるように記入してください。

年	日付	活動項目	活動内容	参加者数や 印刷物の 発行部数等
2023	6/23	オンライン勉強会	自己紹介、中日新聞新規事業「ぱすたいむ」について、清須市防災グループ「はるあき」さんの活動シェア	14 名
	7/21	オンライン勉強会	自己紹介、ファザーリングジャパン「思春期って…」	8 名
	8/16	現地勉強会	白上さんから「コミュニティスクール」について	16 名
	10/27	オンライン勉強会	自己紹介、港区三世代でつながる居場所「陽まわり」について	7 名
	11/24	オンライン勉強会	自己紹介、近況報告会	6 名
	11/26	BBQ & 交流会	BBQ、交流会	14 名
2024	1/26	オンライン勉強会	自己紹介、近況報告会	6 名
	2/3	活動報告&交流会	活動報告、変顔オブザイヤーの表彰、交流会	17 名

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

まちづくり活動の決算書

1 支出

助成対象のまちづくり活動における支出をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	領収書番号	金 額 (円)
① 助成対象事業支出額				93,000 円
① の内訳	広告費	広報費/ 広報活動 ホームページリニューアル費用 ※内容は別紙参照	①	88,000 円
	謝金	勉強会における外部講師謝礼 5,000 円 × 1 回	②	5,000 円
まちづくり活動助成金（申請金額） ※上限金額：1 回目は 5 万円、2 回目、3 回目では 10 万円				93,000 円

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。